

泊小学校のスタ場!!!!

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。

2024, 8, 29(木)
第33号
那覇市立
泊小学校
校内新聞



夏休みが終わり、今週から1学期後半がスタートしました。朝、児童玄関や教室で、元気な皆さんのあいさつの声が聞こえてきて、うれしく思いました。

さて、校長講話では、泊小学校の教育目標「心豊かで思いやりのある子」「よく考え進んで学習する子」「健康で明るい子」の3つを確認しました。

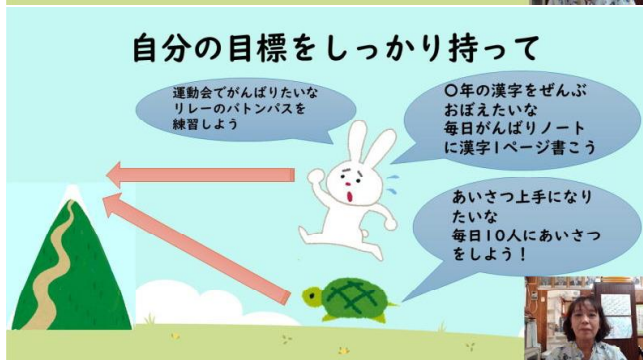
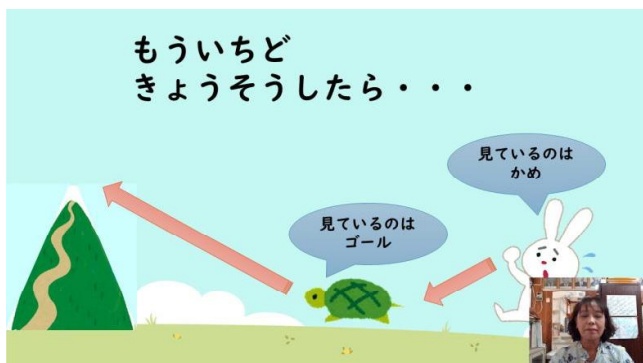
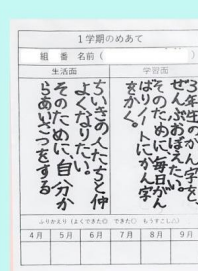
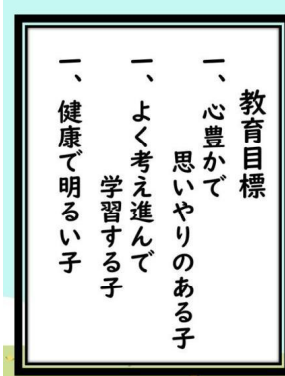
みなさんは、一学期前半の間に、この目標に近づけましたか？4月にたてた自分のめあてを読み返し、のこりの期間でできること・身につけることをしっかり確認して1学期後半をスタートしましょう。

また『うさぎとかめ』の物語も紹介しましたね。では、そのうさぎとかめがもう一度競争したらどちらが勝つでしょうか。もう油断しないので、うさぎが勝ちそうですね。

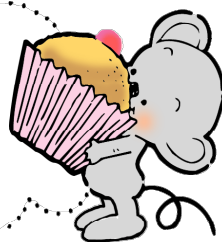
でも、「またかめが勝つ」と言う人がいます。その人が言うには、「うさぎはかめばかり見ている。つまり、競争する相手だけを見ている。でも、かめは相手がうさぎであろうと、誰であろうと、ゴールだけを見ている。だから、わき目もふらず、ゴールを目指して、結果的に勝つ」というのです。

つまり、何かをする時に、周りの人を見て、あの人があれくらいしかやっていないのだから、自分のこれくらいでよいと考えたり、本当はやらないといけないことだけど、やっていない人もいるから自分もやらなくていいやと考えたりするのは、本気ではないので、うさぎのように負けたり、失敗するかもしれないということです。

一学期後半も、自分が頑張りたいことは何か、やりたいことのレベルはどれくらいか、目標をしっかりと持って取り組んでいきましょう。そして、それに向かって頑張ろうとする子になってほしいです。



対馬丸記念会 泊小学校 平和のモニュメント除幕式



夏休み開けの8月26日、対馬丸記念館による「泊小平和のモニュメント除幕式」を行いました。

夏休み中に、運動場の西側、校舎の反対側に「泊小学校平和のモニュメント」が建てられました。戦争があった頃、沖縄から九州へ疎開した人たち1800人を乗せた「対馬丸」という船が、潜水艦の攻撃を受けて沈み、約1500人が亡くなりました。犠牲になった子供たちのうち、那覇市では泊小学校の子が2番目に多いそうです。

6年生も朝の少しの時間での趣旨説明・練習でしたが、しっかりと意識を持って参加できたかと思います。それで、犠牲になった泊小の子たちをなぐさめることと、今を生きる泊っ子へ平和の尊さを伝えるために、このモニュメントが建てられました。

式では、泊っ子を代表して6年生が「除幕式」に参加しました。

また、犠牲者と今の児童の共通言語である「校歌」を歌うことで、心を通わせることができるかなと思っていたら、式の後、参加された方から「校歌を聴いて涙が出た」と声を震わせて私にお話ししてくださる方がいました。6年生が真剣に歌う姿が、感動を与える力があることを改めて実感しました。

各団体の代表が除幕式のロープを引いておひろ目です。



各団体の代表が除幕式のロープを引いておひろ目です。

対馬丸記念会代表理事 高良 政勝 様のあいさつでは、平和のモニュメントがつくられたわけや、平和についての思いを話してくださいました。

児童代表あいさつでは「戦争を知らない私たちが過去を学び、同じことを繰り返さないことが大切」ということを訴えました



とまり会
浦崎 唯昭 様
のあいさつ



学校長あいさつでは、泊小の宝物として大切にしていくこと、130名へむけた「おかえりなさい」のメッセージを送りました



稲嶺恵一元沖縄県知事からは、「このモニュメントを今後、どう生かしていくかが若い皆さんの役割」との言葉をいただきました。

この日の放課後や、別の日に、子供たちが帰りながらモニュメントを見に近くへ行ったり、手を合わせて帰ったりする姿が見られました。

なくなった子たちの思いを大切にしながら、泊っ子一人一人が平和を願い、そのためにできることを考えてほしいです。



除幕式やインタビューのようすは、
ほぼ全部のテレビ局・新聞社が取材し
てくれました。しばらくはWebや
YouTubeで視聴できます。



平和の約束

対馬丸に乗った子どもたちからみんなへ

みんなは「平和」ってどんなものだと思う？

家族がいて、おいしいものをみんなで食べたり
友だちとゲームをしたり、いつもいっしょにいたりすることかな？
アイスクリームみたいに甘くて、おいしいものかな。

好きな子に「ほくも（わたしも）きみが好きだよ」と
言ってもらったときかな。

想像してみて。

きみがその「平和」を感じているとき、
この地球に暮らす、たくさん他の子たちは、
「平和」に生きているかな？

今でもまだ、世界では戦争で多くの子どもたちが
悲しい思いをしているんだ！

僕らと同じように、大切な未来をうばわれないように。

今みんなで約束して欲しいんだ、

きみが、平和な地球をつくるって。

